

# 第1次基本集計結果の概要—人口等基本集計—

## 1 人口の規模と推移

平成22年10月1日現在の小平市の人口は187,035人(男性92,886人、女性94,149人)で前回の国勢調査(平成17年)に比べ、3,239人、1.8%の増加。

(図1、統計表1)

- ・ **人口の多さは26市の中で6番目(統計表5)**

八王子市(580,053人)、町田市(426,987人)、府中市(255,506人)、調布市(223,593人)、西東京市(196,511人)に次ぐ多さである。

- ・ **5年間の増加率は1.8%で、東京都26市中17番目(統計表5)**

26市において、5年間の人口の増減率を見ると、増加率の高い順に稲城市(10.91%)、東村山市(5.95%)、町田市(5.29%)、武蔵村山市(5.26%)、三鷹市(5.12%)となっている。減少したのは青梅市(△2.12%)、福生市(△2.09%)の2市。

- ・ **町丁別にみると、上水本町5丁目、花小金井1丁目の増加率が著しい。(統計表4-2)**

町丁別に5年間の増減率を見ると以下の通りとなる。

	人口が増加した町	人口が減少した町
1位	上水本町5丁目 (146.0%)	花小金井南町1丁目 (△16.7%)
2位	花小金井1丁目 (48.7%)	小川東町4丁目 (△13.7%)
3位	上水南町3丁目 (26.1%)	小川東町2丁目 (△9.2%)
4位	小川東町5丁目 (26.0%)	喜平町3丁目 (△8.6%)

※31町丁で増加し、34町丁で減少した。

- ・ **小平市の外国人は3,140人で、2.9%の減少(統計表9)**

特にブラジルは64.9%の減、逆にインドネシアが200.0%、ベトナムが136.0%の増。

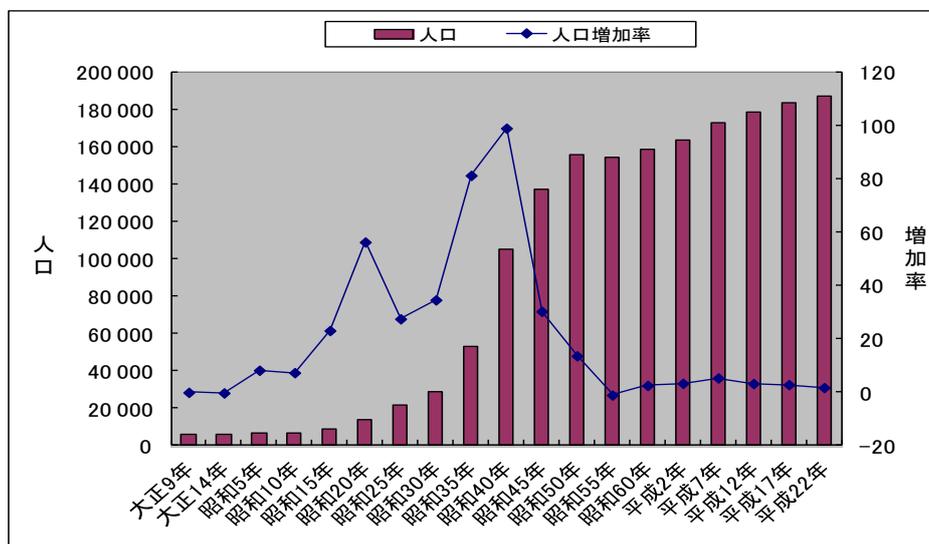
- ・ **東京都の人口は4.63%の増**

東京都の人口は、1,315万9千人で、前回の国勢調査による人口(1,257万7千人)に比べ58万3千人、4.63%の増。特に区部の人口増加率(5.37%)が市部の増加率(3.21%)を上回っているのが特徴的である。

- ・ **わが国の総人口は0.2%の増**

我が国の人口は、1億2,805万7千人で、前回の国勢調査による人口(1億2,776万8千人)に比べ、28万9千人、0.2%の増加となった。

図1 小平市における国勢調査人口の推移

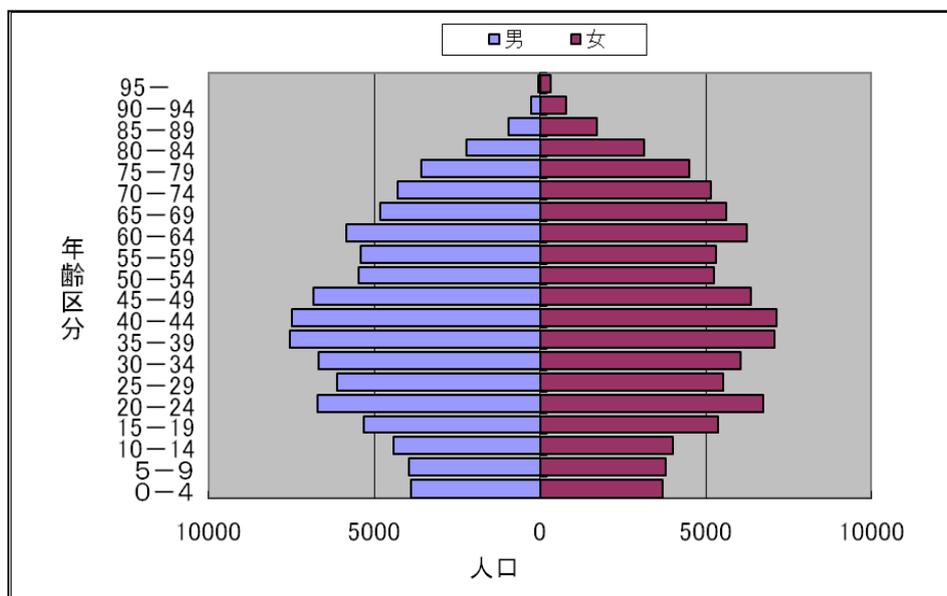


## 2 男女、年齢別人口

小平市の人口を男女別に見ると、男子が 92,886 人、女子が 94,149 人で平成 17 年に比べ男子 1,130 人 (1.2%)、女子 2,109 人 (2.3%) の増加。(図 2、統計表 4-1)

- 人口性比 (女子 100 人に対する男子の数) は 98.7 で、全国の 94.8、東京都の 98.0 を上回る。

図 2 人口ピラミッド



### ・ 老年人口の割合が増加

平成 22 年調査の年齢 3 区分別人口は、年少人口 (0~14 歳) 23,774 人、生産年齢人口 (15~64 歳) 124,342 人、老年人口 (65 歳以上) 37,384 人で、総人口に占める割合はそれぞれ、12.8%、67.0%、20.2%である。前回調査に比べ、年少人口が 874 人 (3.5%)、生産年齢人口が 2,859 人 (2.2%) 減少しているのに対し、老年人口は 5,458 人 (17.1%) 増加している。(図 3、統計表 2)

また、高齢者の割合がもっとも高い町は、美園町 3 丁目 (37.5%) であり、以下、小川東町 2 丁目 (37.0%)、喜平町 3 丁目 (34.5%)、小川西町 3 丁目 (29.7%)、津田町 3 丁目 (29.4%) となっている。

### ・ 東京都の年齢 3 区分別の割合

年少人口 11.4%、生産年齢人口 68.2%、老年人口 20.4%となっている。

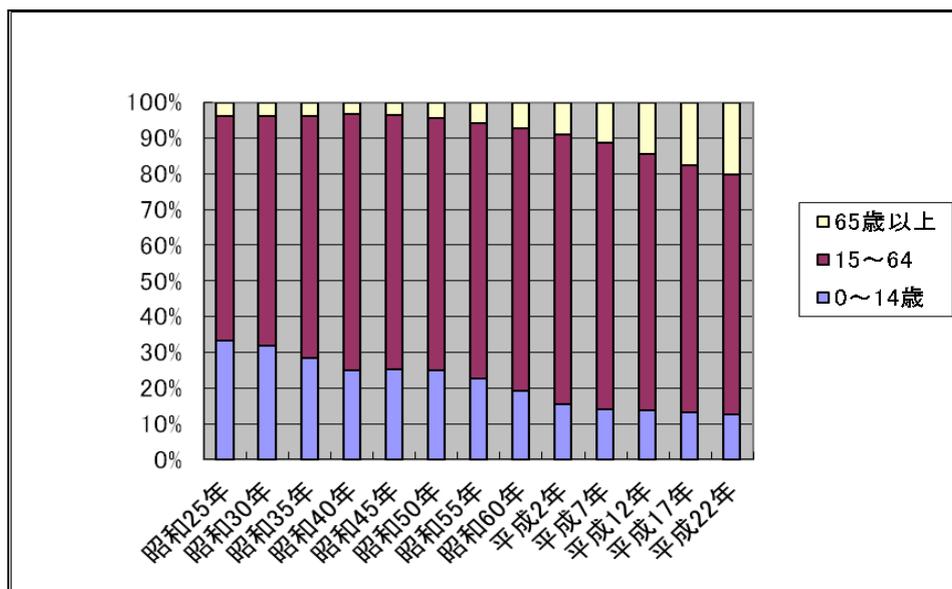
### ・ 小平市の平均年齢

小平市の平均年齢は、43 歳 (男子 41.6 歳、女子 44.1 歳) で、この 5 年間で 1.9 歳上昇。

町丁別にみると、平均年齢のもっとも高い町・低い町は以下の通りとなる。

	平均年齢が高い町	平均年齢が低い町
1 位	美園町 3 丁目 (53.4 歳)	小川東町 3 丁目 (28.9 歳)
2 位	小川東町 2 丁目 (52.4 歳)	喜平町 2 丁目 (31.9 歳)
3 位	喜平町 3 丁目 (52.0 歳)	上水本町 5 丁目 (34.7 歳)
4 位	小川西町 3 丁目 (50.2 歳)	小川東町 5 丁目 (37.5 歳)
5 位	小川東町 4 丁目 (49.5 歳)	上水南町 3 丁目 (38.4 歳)

図3 年齢3区分別人口割合



### 3 配偶関係

配偶関係別に見ると、有配偶者は男性 54.9%、女子 53.6%。男女ともに 25～29 歳の未婚率は上昇傾向であったが、平成 22 年では、低下している。  
また、35 歳以上の未婚率は上昇している。(図 4)

・ **小平市全体の未婚率**

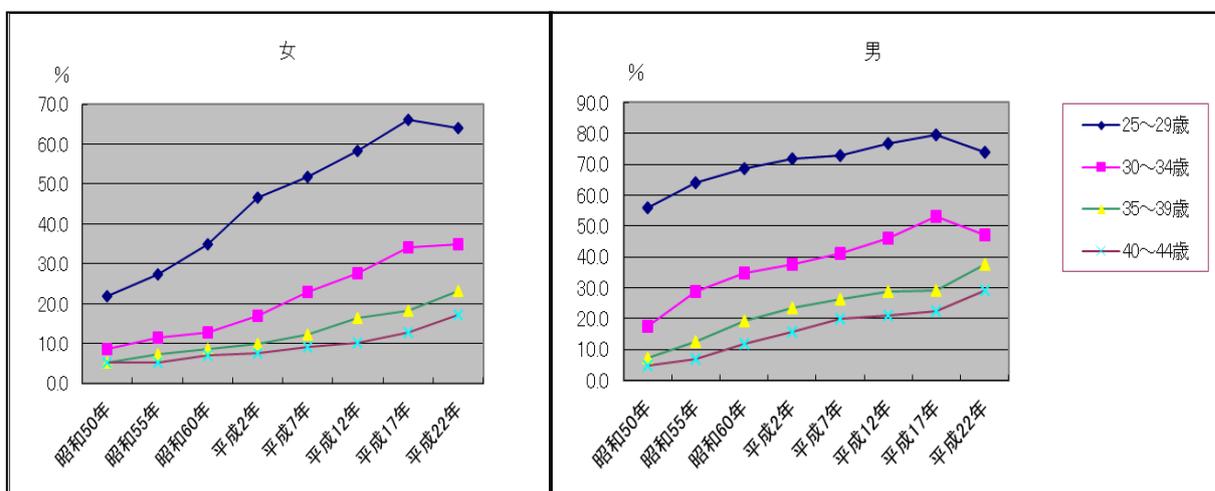
男性 36.9% (前回調査に比べ 0.8 ポイント減)、女性 28.6% (同 0.9 ポイント減) である。東京都は、男性 36.5%、女子 29.3%。

・ **年齢階級で見る配偶関係**

女性は、25～29 歳が 64.1% (前回調査に比べ 2.1 ポイント減)、30～34 歳が 34.8% (同 0.6 ポイント増)、35～39 歳が 23.2% (同 4.9 ポイント増)、40～44 歳が 17.4% (同 4.6 ポイント増)。

男性は、25～29 歳が 74.0% (同 5.6 ポイント減)、30～34 歳が 47.1% (同 5.9 ポイント減)、35～39 歳が 37.8% (同 8.7 ポイント増)、40～44 歳が 29.1% (同 6.5 ポイント増)。

図4 25歳～44歳の5歳階級別未婚率の推移



## 4 世 帯

小平市の総世帯数は 81,784 世帯、世帯人員 187,035 人で、うち一般世帯は、81,683 世帯、一般世帯人員は 181,290 人、一般世帯 1 世当たり人員は 2.22 人。(統計表 7)

- ・ **一般世帯の世帯人員別分布**

1人世帯が一般世帯数の 38.6%で最も多く、2人世帯 25.4%、3人世帯 17.4%、4人世帯 14.1%と続く。

- ・ **世帯の家族類型別にみる世帯数**

「単独世帯」が 31,509 世帯 (38.6%)、「夫婦のみ世帯」が 15,119 世帯 (18.5%)、「夫婦と子供からなる世帯」が 24,229 世帯 (29.7%)となっている。(統計表 10)  
これを町丁別にみると、単身者の割合が高い町は以下の通りとなる。

	町 丁 (割 合)
1 位	喜平町 2 丁目 (66.9%)
2 位	小川東町 4 丁目 (65.3%)
3 位	美園町 2 丁目 (58.6%)
4 位	学園東町 1 丁目 (58.3%)
5 位	学園東町 3 丁目 (53.0%)

また、1世帯当たり人員が最も多い町は、上水本町 3 丁目 (2.75 人)であり、以下上水新町 1 丁目 (2.65 人)、大沼町 2 丁目 (2.62 人)、大沼町 1 丁目・上水南町 3 丁目・上水本町 6 丁目・鈴木町 1 丁目 (2.58 人)、花小金井 3 丁目 (2.53 人)となっている。

- ・ **65 歳以上親族のいる世帯が増加**

65 歳以上親族のいる一般世帯は 24,982 世帯で、一般世帯の 30.6%となり、前回調査に比べ 3.3 ポイントの増。東京都は、一般世帯数の 28.8%。

- ・ **65 歳以上単身世帯が増加**

65 歳以上単身世帯は、7,259 世帯(一般世帯の 8.9%)で、前回に比べ 1,969 世帯の増。

これを町丁別にみると、65 歳以上の単身者の割合が高い町・低い町は以下の通りとなる。

	65 歳以上単身者の割合が高い町	65 歳以上単身者の割合が低い町
1 位	小川東町 2 丁目 (18.9%)	小川東町 3 丁目 (0.0%)
2 位	小川東町 4 丁目 (18.4%)	喜平町 2 丁目 (2.3%)
3 位	喜平町 3 丁目 (17.1%)	小川東町 5 丁目 (3.7%)
4 位	津田町 3 丁目 (16.6%)	栄 町 2 丁 目 (4.0%)
5 位	中 島 町 (15.2%)	喜平町 1 丁目 (4.6%)

## 5 住 宅

住宅の所有の関係をみると、持ち家に住む世帯が 39,092 世帯で最も多く、住宅に住む一般世帯の 48.6%を占めている。(統計表 11)

### ・ 持ち家に住む割合が増加

民営借家の世帯が 28,584 世帯 (35.5%)、公営借家の世帯が 7,978 世帯 (9.9%)、給与住宅の世帯が 3,495 世帯 (4.3%)、住宅に間借りしている世帯が 1,273 世帯 (1.6%) となっている。

前回調査に比べ、持ち家に住む世帯が 2.2 ポイント増加し、公営借家の世帯が△0.6 ポイント、民営借家の世帯が△0.3 ポイント、給与住宅が△0.9 ポイント、住宅に間借りが△0.5 ポイントそれぞれ減少した。

### ・ 東京都の住宅の所有の関係割合

持ち家 46.6%、民営の借家 40.3%、公営の借家 8.2%、間借り 1.6%、給与住宅 3.4%。

### ・ 一戸建てに住宅に住む世帯が若干の増加

住宅に住む一般世帯について、住んでいる住宅の建て方別の内訳を見ると、共同住宅に住む世帯が 45,749 世帯 (56.9%) で最も多く、以下一戸建てに住む世帯 33,144 世帯 (41.2%)、長屋建ての住宅に住む世帯が 1,403 世帯 (1.7%) となっている。前回調査に比べ、一戸建てに住む世帯は 0.5 ポイント、長屋建てに住む住宅は 0.3 ポイント増加し、共同住宅に住む世帯は△0.9 ポイント減少となった。

これを町丁別にみると、一戸建ての割合が高い町は以下の通りとなる。

	町 丁 (割 合)
1 位	上水新町 1 丁目 (79.3%)
2 位	栄 町 3 丁目 (76.1%)
3 位	上水新町 2 丁目 (74.5%)
4 位	上水新町 3 丁目 (71.6%)
5 位	花小金井南町 3 丁目 (68.9%)

なお、小川東町 2・3 丁目、喜平町 2・3 丁目は一戸建てに住む世帯はない。

### ・ 住宅に住む 65 歳以上の親族のいる一般世帯

住宅に住む 65 歳以上の親族のいる一般世帯は 24,961 世帯で、そのうち持ち家に住む割合は 70.5%と一番高くなっている。(統計表 15)